

報道関係各位

2016年7月13日

21世紀型スキルを育む学童保育施設 CAS+代官山が第10回キッズデザイン賞を受賞

子ども子育て総合研究所株式会社（本社 東京都目黒区／代表取締役 小林照男）は、2016年3月に東京都渋谷区にて開校した代官山初となる民間学童保育施設「CAS+（コビーアフタースクールプラス）代官山」において、第10回キッズデザイン賞（主催：特定非営利活動法人キッズデザイン評議会、後援：経済産業省・消費者庁）を受賞しました。

キッズデザイン賞は、子どもたちの安全・安心に貢献するデザインや、子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもたちを産み育てやすいデザインの製品などを表彰するものです。今回は3つの部門に分けて選定され、「CAS+代官山」は、親や育児に関わる人が利用する製品、建築・空間、サービスにおいて、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫がなされたものを顕彰する《子どもたちを産み育てやすいデザイン部門》（カテゴリー：建築・空間）で受賞※しました。



【受賞概要】

■CAS+（コビーアフタースクール+）代官山 [子どもたちを産み育てやすいデザイン部門]

代官山初となる民間学童保育施設として、2016年3月に開校しました。スクールの根幹であるアクティブラーニング（体験型学習）を実践するために、遊び感覚で学びの世界が広がる「アクティブラボ」や、子ども主体の活動やプレゼンテーション行う「クリエイティブオフィス」、本格的な日本文化体験を叶える「茶室」、興味がさらに発展するように書籍をセレクトした「フィールドライブラリー」などを設けています。また、基礎学習の定着時期を過ごす場所としての配慮から、学習スペースにはシンボルとなる「ラーニングデスク」を配置。さまざまな身長に合わせて使用できるよう、高さに変化をつけています。



遊びやアクティブラーニングなど、子どもの好奇心を刺激する
1F「アクティブフィールド」



学習スタイルに合わせて思い思いの空間を選び、集中して学べる
2F「ラーニングフォレスト」



日本人としての教養、所作を育む
「茶室」

【施設概要】

運営主体：子ども子育て総合研究所株式会社

住所：〒150-0034 東京都渋谷区代官山町9-10 SodaCCo 1F・2F

開校時間：13:00～21:00

設計：ミサワホーム株式会社

アクセス：東急東横線代官山駅 徒歩8分

テナント総面積：3室 251.07㎡（既存RC6階建）

施工：ミサワホーム建設株式会社

《子ども子育て総合研究所株式会社》

民間学童保育施設（アフタースクール）の運営、地方自治体より放課後児童健全育成事業（学童保育）、子育て支援事業（子ども向けキャンプ）等の受託・運営を行っています。また、「21世紀型スキル」や「非認知能力」の研究、カリキュラム開発などにも取り組んでいます。

本件に関するお問い合わせ先
子ども子育て総合研究所株式会社 広報担当 武田路和
TEL 03-6452-2891 FAX 03-3710-1555 E-MAIL pr@coco-inst.jp